

令和2年度 主要事業計画

学園の建学の精神のもと、各学校の理念・目標を踏まえた教育研究を強力に推進する。

令和2年度においては、私立学校法等の改正を踏まえ、教育研究の一層の充実とガバナンスの強化を図る。特に最終年度となる教学改革を主軸とする第2次中期計画を着実に実行するとともに、令和3年度からの、次期中期計画を策定する。

- ① 教学面においては、教学マネジメントの構築を図るほか、学生支援の強化に努める。
- ② 卒業生にとって魅力ある学園づくりを含めた学園のブランディング戦略の強化を図るとともに、地域貢献の取組みを推進する。
- ③ 学園の施設・設備の整備については、高校においてはICT教育推進のための環境整備、東校舎の改修を行うほか、大学・短大においては教務システムの本格導入やアクティブラーニング設備の整備を行うなど、学生・生徒の学び環境の充実に努める。
- ④ 産学官連携については、愛知県中小企業家同友会や瑞穂区との連携協力を推進し、全学的な社会貢献に取り組む。

1. 各学校における令和3年度入学学生・生徒の確保等

令和3年度入学の学生・生徒の確保のための年間を通じた適切な広報及び募集活動の推進により学生・生徒を確保する。

| 学 校 名 | 学則入学定員 | | 第3年次 編入学定員 | |
|---------------|--------|-------|---------------|-------|
| | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| 愛知みずほ大学大学院 | 15人 | 15人 | | |
| 愛知みずほ大学 | 130人 | 130人 | 10人 | 10人 |
| 愛知みずほ短期大学 | 120人 | 120人 | | |
| 愛知みずほ大学瑞穂高等学校 | 480人 | 480人 | | |
| 計 | 745人 | 745人 | 10人 | 10人 |

- (1) 広報及び学生・生徒募集について戦略的に進め、定員の確保を図る。
- (2) 次年度以降の入学選抜方法の見直しと併行して、従来の入学選抜方法による募集状況等を分析しながら工夫・改善しつつ実施する。

2. 全校的共通事項

- (1) 第2次中期計画及び瀬木学園アクション・プランの実行
- (2) 次期中期計画の策定
- (3) 高大連携の促進及び高校と大学・短大間の教育連携の充実
- (4) キャリアセンターの全学的活用
- (5) 各学校における経費全般の縮減
- (6) 三連動地震（東海・東南海・南海連動型地震）対策の強化
- (7) 広報誌「瀬木学園だより」の定期的な発行
- (8) 公開講座等地域貢献活動の実施
- (9) 瑞穂区との協定に基づく連携協力の推進

3. 大学・短大の共通事項

- (1) 「建学の精神」の学生及び地域住民への浸透強化
- (2) 教学マネジメントの構築
- (3) 各学科、専攻、コースの特色を活かした教育の推進
- (4) 研究活動の推進
- (5) 「科学研究費助成事業」その他研究助成事業への申請の促進
- (6) 研究不正行為の事前防止強化
- (7) FD・SD 研修会の成果の実質化
- (8) 愛知県中小企業家同友会との連携による就職指導体制の更なる充実

4. 各学校の取り組み事項

- (1) 高等学校
 - ① 新学習指導要領に対応する教育課程の編成
 - ② ICT 環境の整備及び学習活動での活用推進

- ③ きめ細かい生徒募集活動の実施
- ④ 愛知みずほ大学並びに愛知みずほ短期大学との連携の強化
- ⑤ 学力の向上と進路実績の充実
- ⑥ 保護者と学校の相互理解の促進

(2) 短期大学

- ① 教学マネジメントの充実
- ② 学内研究発表会の継続
- ③ 卒業生支援プログラム新企画の検討及び既存プログラム（2020 年度スタート）の広報
- ④ 瑞穂区高齢者対象『みずほヘルスセミナー』など地域貢献活動の継続実施
- ⑤ 『食品加工講座』、『げんキッズ』など学科専攻コースの特徴を活かした社会貢献の継続実施
- ⑥ 日曜講座（教養講座）の見直し
- ⑦ FSD 研修の開催

(3) 大学

- ① カリキュラム評価と教育改善
- ② 少人数教育によるカリキュラム内容の充実
- ③ アクティブラーニングの充実
- ④ 基礎学力の向上(国語、数学、英語)を図るとともに、インターンシップの早期実施によるキャリア教育の推進
- ⑤ 公認心理師養成教育カリキュラムの充実
- ⑥ 学修コンシェルジュ制度の見直し等による学生支援の強化
- ⑦ 学力の 3 要素を踏まえた新入試制度の推進
- ⑧ なごや健康カレッジや公開講座など社会貢献の充実

(4) 大学院

- ① 大学院カリキュラム等の充実
- ② 大学院研究科への社会人受け入れ体制等充実策の検討
- ③ 大学院における研究倫理教育及びコンプライアンス教育の充実

5. 各学校の教育設備等の充実

- (1) 情報基盤の整備（大学・短大・高校）
- (2) 大型提示装置等の導入（高校）
- (3) クラウド型教務システムの導入（大学・短大）
- (4) アクティブラーニング設備の整備（大学・短大）
- (5) 空調機、照明器具の取替〔第1期工事〕（高校）
- (6) 東校舎の改修（高校）